

Health Professional Meeting (H20) 2019

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) への道

1. 主 催：世界医師会 (WMA)、日本医師会 (JMA)
2. 日 程：6月13日 (木) 13:00~17:30、6月14日 (金) 09:00~16:30
3. 場 所：ヒルトン東京お台場 (〒135-8625 東京都港区台場 1-9-1)
4. 後 援：外務省、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本病院会、
全日本病院協会、日本医療法人協会、他
5. 参加者：WMA 加盟医師会、WHO、Junior Doctors Network、国際医学生連盟、他

6. 背 景：

- ・2017年10月、横倉会長が第68代WMA会長の就任挨拶で、日本の健康寿命を世界のトップレベルの水準に押し上げた日本の国民皆保険制度を世界に発信することにより、医療の国際貢献に努めたいと意思表示を行った。
- ・WMAにおけるUHCへの取り組みは長年にわたっており、患者の権利に関するリスポン宣言等、いくつかのWMA文書に反映されている。
- ・2017年12月、「UHCフォーラム2017」が日本政府、世界銀行、WHO、UNICEF、UHC2030、JICA等の共催で、東京において開催された。国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標のひとつであるUHCの達成を2030年までに目指した取り組みを加速させるためのコミットメントとして、「UHC東京宣言」が採択された
- ・2018年4月、横倉WMA会長 (現WMA前会長) とテドロスWHO事務局長との間で、UHCの推進と緊急災害対策の強化に関する覚書 (MOU) を締結した。
- ・本会合では、UHC推進をグローバルに展開することを目的に、WMAとWHOの相互の地域における協力・連携を図り、各国の取り組みを加速させることへの貢献が期待される。

Regional offices of the WHO			Regions	No. of NMAs
アフリカ地域事務局 Congo (Brazzaville)	AFRO	↔	アフリカ	22
米州地域事務局 US (Washington D.C.)	AMRO	↔	北アメリカ	1
ヨーロッパ地域事務局 Denmark (Copenhagen)	EURO	↔	ラテンアメリカ	17
東地中海地域事務局 Egypt (Cairo)	EMRO	↔	欧州	45
南東アジア地域事務局 India (New Delhi)	SEARO	↔	東地中海	6
西太平洋地域事務局 Philippines (Manila)	WPRO	↔	アジア	8
		↔	大洋州	13
WHO 194 member nations			WMA 112 構成会員	
WHO 本部			WMA 本部	

7. プログラム

第1日目：6月13日（木）

進行：道永麻里 日本医師会常任理事、WMA 理事会副議長

13:00-

歓迎の辞

横倉義武／日本医師会長、世界医師会前会長

Leonid Eidelman／世界医師会長、イスラエル医師会前会長

来賓祝辞

13:25-14:45

基調講演

座長：Miguel Jorge／世界医師会次期会長、ブラジル医師会理事

基調講演 1

「公正へのステップとしての UHC - 健康の社会的決定要因」

Sir Michael Marmot／世界医師会元会長
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン疫学教授

基調講演 2

「世界のより多くの国々、特に医師不足を含め資源の少ない国々で UHC を実現するための主な課題／十分な質のプライマリ・ヘルスケアを構築することにより、ヘルスケアシステムを強化することの重要性」

山本尚子／WHO 事務局長補

提 言

「UHC のための資源確保－機能的で質の高いヘルスケアシステムの経済的関連性の明確化－」

OECD 保健部（調整中）

「プライマリ・ヘルスケアチームにおける役割と機能の定義」

Mukesh Haikerwal／WMA 元理事会議長／オーストラリア医師会

14:45-15:00 休 憩

15:00-17:30 講演 UHC を達成する方法についての見解

座長：Osahon Enebulere／WMA 社会学委員会委員長、
ナイジェリア医師会元会長

講演 1 Ellos Ellard Lodzeni／国際患者団体連合理事／マラウイ

講演 2 Giorgio Cometto／WHO 保健人材担当部調整官

講演 3 國井 修／世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）
戦略・投資・効果局長

講演 4 Jacqueline Kitutlu／ケニア医師会長

講演 5 Ravindra Wankhedkar／インド医師会前会長

コメント

Jose P. Santiago Jr./フィリピン医師会長

Chukwuma Oraegbunam/世界医師会ジュニアドクターズ・ネットワーク代表
/ナイジェリア

Batool Wahdani/国際医学生連盟会長/ヨルダン

パネルディスカッション

17:30 閉 会

第2日目：6月14日（金）

進行：道永麻里 日本医師会常任理事、WMA 理事会副議長

08:45-09:00 1日目の要約

09:00-10:30 講演：健康の安全保障と UHC

座長：神馬征峰/東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室教授

UHC を達成するための継続的な取り組みにとって、災害、急性疾患および慢性疾患の流行は大きな脅威となる。UHC が機能することは、そのような脅威を克服するための強力な基盤となる。このセッションでは、健康上の脅威を制御して UHC を達成することへの貢献、および UHC がそのような壊滅的な健康上の脅威を克服するための鍵となる方法について取り上げる。

- ・戸田隆夫/独立行政法人 国際協力機構（JICA）上級審議役
- ・David Maizlish/赤十字国際委員会（ICRC）駐日代表（代理）
- ・国境なき医師団（MSF）（調整中）
- ・Walaiporn Patcharanarumol/タイ保健省国際保健政策プログラム部長

討 論

10:30-10:40 休 憩

10:40-12:30 講演：UHC とプライマリ・ヘルスケアの政治的側面－医療専門職の役割

座長：中谷比呂樹/WHO 執行理事、慶應義塾大学グローバルリサーチ
インスティテュート特任教授

講演 1 「医療専門職が導く成功への道筋」

Walid Ammar/レバノン保健省事務局長

講演 2&3 「UHC に政治的意思、厳格な決断、及び関与が必要な理由」

渋谷健司/キングス・カレッジ・ロンドン教授

David Barbe/アメリカ医師会元会長

講演 4 「プライマリ・ヘルスケアはそれ自体が目的か、それとも包括的なヘルスケア包括システムへ向けた一歩か、プライマリケア・チームは誰が主導すべきか？」

Otmar Kloiber / 世界医師会事務総長

講演 5 「社会的共通資本と医療」

占部まり / 宇沢国際学館代表

コメント

Doctor's Trade Union イギリス医師会 (調整中)

討 論

12:30-13:40 昼食休憩

13:40-15:40 パネルディスカッションと質疑応答

座長：葛西 健 WHO 西太平洋地域事務局長

講演：「UHC に対する共通の責任、個人の義務。日本における UHC の導入と初期における医師及び医師会の対応の歴史」

横倉義武 / 日本医師会長

パネルディスカッション

厚生労働省：鈴木康裕 医務技監

日本医師会：横倉義武 会長

世界医師会：Frank Ulrich Montgomery WMA 理事会議長

世界銀行：東アジア・大洋州地域事務局 (調整中)

ユニセフ：平林国彦 東アジア・太平洋地域事務局保健アドバイザー

WHO アフリカ地域事務局：(調整中)

WHO 南東アジア地域事務局：Pem Namgyai プログラムマネージメント部長

15:40-16:00 休 憩

16:00-16:30 「UHC に関する東京宣言」(仮題) 採択

座長：Frank Ulrich Montgomery WMA 理事会議長

主な点

- UHC とプライマリ・ヘルスケアの理解と関与の強化
- UHC の達成に向けた長期国家政策の策定
- 医師及び医師会の役割の明確化、政府と社会のあらゆる側面に向けた提言の策定

16:30 閉会の辞

横倉義武 / 日本医師会長、世界医師会前会長

Leonid Eidelman / 世界医師会長、イスラエル医師会前会長